

## 香川県のイバラモ属

久米 修\*

Osamu Kume: A Note on *Najas* in Kagawa Prefecture

### はじめに

香川県に生育するイバラモ属 *Najas* は、イバラモ *N. marina* L., ホッスモ *N. graminea* Del., オオトリゲモ *N. oguraensis* Miki, トリゲモ *N. minor* L., ムサンモ *N. ancistrocarpa* A. Br., イトトリゲモ *N. japonica* Nakai, ヒロハトリゲモ *N. foveolata* A. Br. の7種が知られている(久米, 1982). これらイバラモ属の生育状況は多様であり, 現在生育の不明なものも含まれている. 筆者は, これまでイバラモ属植物の標本を作成するとともに, その生育環境を調査してきたので, その結果を報告する.

本調査の取りまとめに当り, 神戸大学の角野康郎先生には標本の同定でお世話になり, 香川植物の会の皆様には標本の採集と提供に援助をいただいた. ここに厚く御礼申し上げる.

### 調査方法

調査に当たっては, 香川県内の各種水域で行った水生植物の調査時に, イバラモ属植物の発見に努め, 腊葉標本を作成した. 同時に県内の標本資料の収集に努め, 標本の見直しを行った. この標本に基づき, 香川県下の分布図を作成した. 産地の標高は, 国土地理院発行の2万5千分の1地形図から読み取った.

標本産地目録は, 市町単位に東から西に並べ, 産地名, 採集年月日および採集者の略号の順に記載した. 標本産地名は, 標本を採集した地点の属する市町の地名とし, 市町ごとに(;)で区切り, 同一の市町名あるいは大字, 字名が続く場合はその後は省略した. 同一産地で採集日の異なった標本が複数ある場合には, 古い日付のものを記述した. 採集年の頭に標本番号の付いているものは神戸大学の角野康郎先生に同定していただいたものであり, 無番号のものは筆者が同定したものである.

### <採集者略号>

A: 赤木綵子, AN: 安藤誠司, K: 久米 修, N: 納田美也, O: 大石泰輔, OK: 大久保和子, S: 白川尚代, W: 和気俊郎

### 結 果

標本に基づく香川県下の分布状況を図1に, 生育地の標高を図2に, 立地環境を図3に種類別に整理して示した.

#### 1. *Najas marina* L. イバラモ

香川県では極めて稀で, 得られた標本の産地は丘陵部と山際の溜池である(図3). 他に, 三木茂(瀬戸, 1978)の1923年の奥鹿村(現三木町)と三谷進(香川県, 1983)の1982年の高松市東植田町の記録がある. 現在本種は, いずれの産地にも見られなくなった.

#### <標本産地>

大川町南川一の瀬(溜池)(1984. 8. 16-O & N); 三木町池戸西浦谷「五分の一池」(1979. 10. 7-K)

#### 2. *Najas graminea* Del. ホッスモ

香川県産イバラモ属の内, 他のトリゲモ類とは, 葉鞘の先が披針形に突き出ている形態により比較的容易に区別出来る. 生育地の標高は, 200メートル以下に多いが, 375メートルまで生育が確認されており, 県産イバラモ属の内では最も高い標高まで生育している. 生育地の立地は, 丘陵部から山際の中規模の溜池が主体であるが, 平野部から丘陵部の水田, 山中の砂防堰堤, 小規模の堀まで多様な水環境に生育している(図2・3).

#### <標本産地>

引田町南野大縄「保田池」(No. 1309-1990. 9. 22-K); 白鳥町五名甫ヶ谷(溜池)(No. 1160-1989. 9. 27-K)

\*〒761-0446 高松市東植田町字寺峰1210-3 香川県東部林業事務所

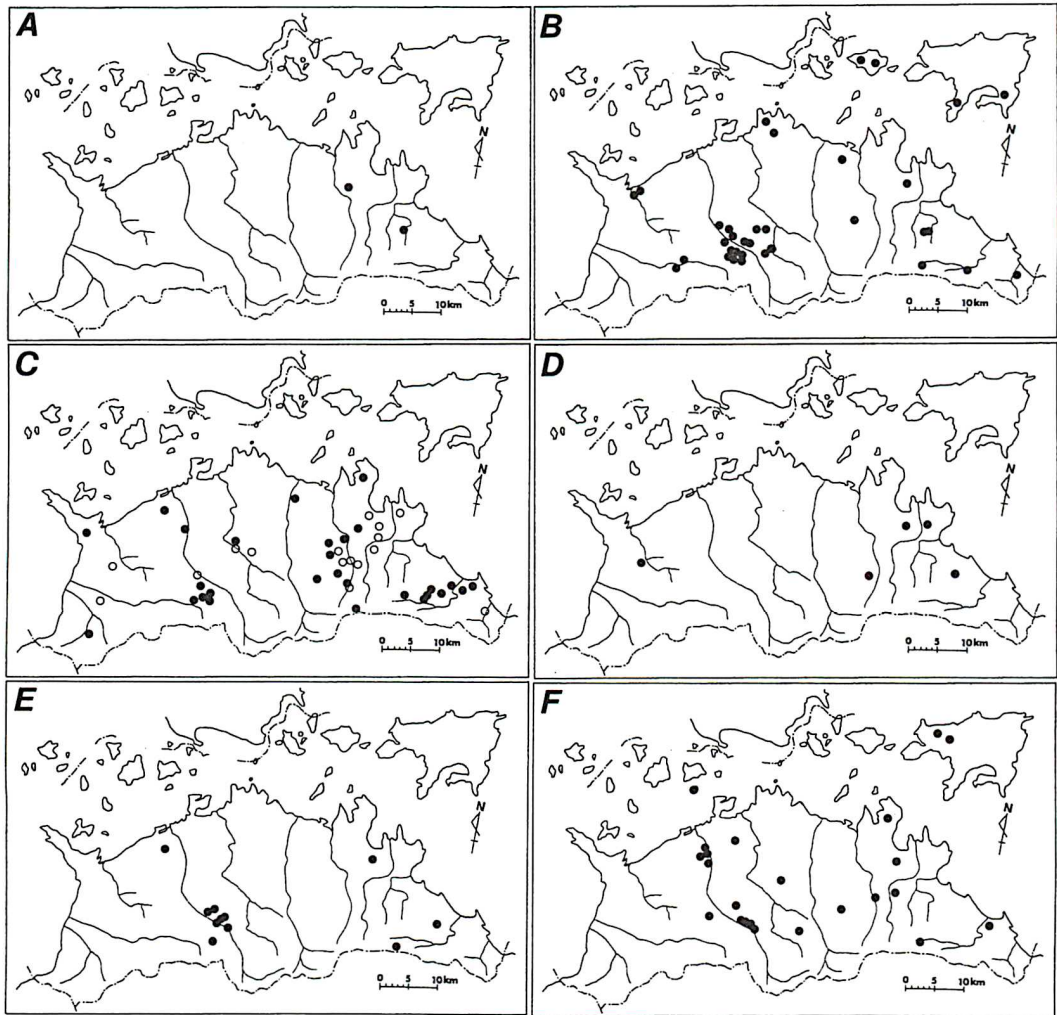


図1 香川県におけるイバラモ属の分布。

A : イバラモ ; B : ホッサモ ; C : (●) オオトリゲモ, (○) トリゲモ ;  
D : ムサシモ ; E : イトトリゲモ ; F : ヒロハトリゲモ。

K), 福栄清房「清房池」(No. 1757-1995. 10. 21-K); 大川町南川一ノ瀬「浦谷小池」(1998. 8. 29-K), 「浦谷上池」(No. 1868-1998. 8. 29-K); 志度町志度藤村(水田)(No. 601-1983. 9. 15-K); 内海町苗羽馬木「前林池」(No. 884-1985. 8. 28-K); 土庄町豊島唐櫃岡(用水堀)(No. 870-1985. 7. 1-K), 家浦(溜池)(No. 968-1986. 9. 14-K); 池田町吉野賢東(溜池)(No. 953-1985. 10. 14-K); 高松市桜町(水田)(No. 1033-1987. 9. 22-A), 東植田町寺峰(溜池)(No. 1157-1989. 9. 7-K); 坂出市王越町東分(溜池)(No.

567-1982. 12. 5-K), 大屋富町「タンベ池」(No. 998-1986. 9. 15-AN); 綾上町西分境場「大桑池」(No. 1279-1990. 8. 9-W), 「新池」(No. 1758-1995. 10. 22-K), 猪尾(溜池)(1991. 10. 31-K), (溜池)(No. 1692-1994. 7. 28-K); 満濃町炭所西江畑「源氏池」(No. 1186-1989. 10. 22-A), 「上所池」(No. 1316-1990. 10. 14-K), 「御花池」(No. 1317-1990. 10. 14-K), 「采園場堰堤」(No. 1694-1994. 9. 10-K), 片岡南(溜池)(No. 1695-1994. 9. 24-S), 常包(溜池)(No. 1753-1995. 9. 17-K), 吉野龍頭「逆様池」(No.

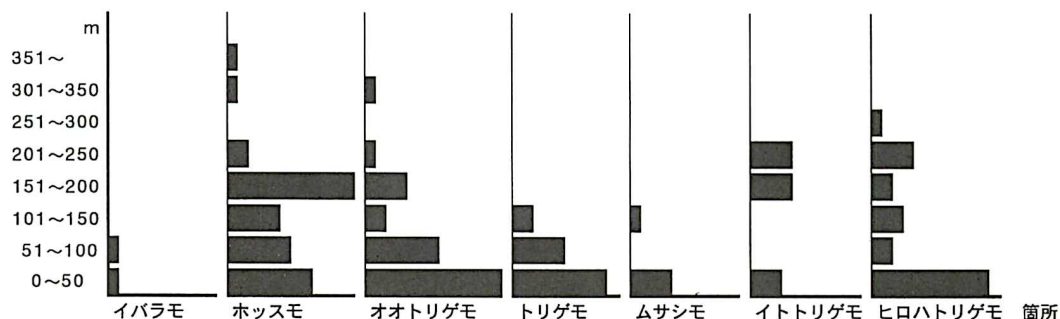


図2 香川県産イバラモ属の生育地の標高。

1278-1990. 8. 9-K), 五毛(溜池)(No. 1312-1990. 9. 30-K), (溜池)(No. 1313-1990. 9. 30-K), (No. 1867-1998. 7. 5-W), 炭所東大井手(水田)(No. 1481-1991. 8. 18-OK), (水田)(No. 1485-1991. 8. 18-S), 長尾「寺横池」(1994. 8. 30-OK); 詫間町松崎東(水田)(No. 623-1983. 9. 21-W), 州鼻(水田)(No. 624-1983. 9. 21-W); 財田町財田上高倉「東池」(No. 562-1982. 9. 27-K), 野田原(溜池)(No. 1755-1995. 10. 19-K)

### 3. *Najas oguraensis* Miki オオトリゲモ

生育地の標高は、100メートル以下に多いが、310メートルまで確認されている。生育立地の中心は丘陵部の溜池であるが、平野部から山中の小～大型の溜池まで見られ、小さな排水路にも生育している(図2・3)。

<標本産地>

白鳥町伊座上伊座「水任下池」(No. 615-1983. 10. 2-K), 白鳥「原間池」(No. 1872-1998. 10. 4-K), 東下「久詰池」(No. 618-1983. 10. 2-K), 入野山「星越池」(No. 1626-1992. 9. 26-K); 大内町水主中村「安鹿上池」(No. 619-1983. 10. 2-K), 水主第2「大池」(No. 1751-1995. 9. 8-K), (溜池)(No. 1752-1995. 9. 8-K), 川東原間「上池」(No. 1871-1998. 10. 4-K); 長尾町多和力石「宇戸池」(No. 701-1984. 9. 2-K); 三木町鹿庭三番(溜池)(No. 599-1983. 8. 28-O), 朝倉本村(溜池)(No. 1156-1989. 9. 7-K), 池戸高尾(溜池)(No. 1479-1991. 7. 9-A), 井上中谷「岩川下池」(No. 1693-1994. 8. 28-K); 庵治町湯谷「土手の内池」(No. 1866-1997. 8. 17-A); 高松市川島東町稗田「下金法寺池」(No. 558-1982. 10. 9-K),

東植田町「公測池」(No. 1280-1990. 9. 1-K), 西春日町北山浦「新池」(No. 1666-1992. 12. 29-K), 西植田町葛谷(溜池)(No. 1870-1998. 9. 20-K); 綾南町北上の原「山下池」(No. 710-1984. 10. 7-K); 丸亀市川西町「八丈池」(No. 1034-1987. 10. 4-K), 金倉町道下「瓢池」(No. 1869-1998. 9. 12-K); 満濃町吉野五毛「五反地池」(No. 1310-1990. 9. 30-K), (溜池)(No. 1311-1990. 9. 30-K), 龍頭(小溝)(No. 1669-1993. 8. 22-S), 炭所西江畑「測谷池」(No. 1318-1990. 10. 14-K); 仲南町七箇春日「氏社池」(No. 1836-1996. 11. 3-K); 仁尾町朝日「上梅花池」(No. 1691-1994. 7. 21-K); 大野原町萩原「千歳池」(No. 1629-1992. 10. 4-K)

### 4. *Najas minor* L. トリゲモ

生育立地の中心は丘陵部の溜池であるが、平野部から山際の小～大型の溜池まで生育している。標高125メートル以下で確認されたが、オオトリゲモに比べ、標高がより低い方に多い様に見受けられる(図2・3)。

<標本産地>

引田町南野小飲「池田池」(No. 696-1983. 11. 3-K); 志度町志度平竹「平竹池」(No. 602-1983. 9. 15-K), 鴨庄大井「新池」(No. 988-1986. 10. 5-W); 長尾町東下所(溜池)(No. 557-1982. 10. 9-K), 造田は弘沢福「下池」(No. 559-1982. 10. 9-K); 三木町朝倉「奥の堂池」(No. 561-1982. 10. 10-K), 鹿庭「二股池」(No. 961-1986. 8. 21-K), 三番(溜池)(No. 598-1983. 8. 28-O), 上高岡「山大寺池」(No. 962-1986. 8. 21-K); 牟礼町原中村(溜池)(No. 954-1985. 11. 4-A); 高松市東植田町岩破「三ッ子石池」



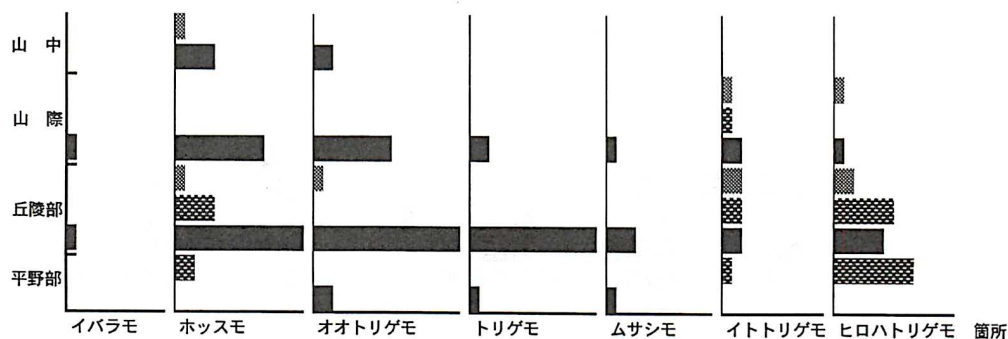


図3 香川県産イバラモ属の生育立地環境。■：溜池，▨：水田，▩：その他。

(No. 957・958-1986. 8. 20-K); 綾上町山田下平見「大見池」(No. 711-1984. 10. 7-K); 綾南町陶向原「鶴戸池」(No. 607-1983. 9. 18-K); 満濃町吉野桶樋「新池」(No. 886-1985. 9. 1-K); 高瀬町下勝間六ッ松「加賀津池」(No. 885-1985. 8. 31-K); 観音寺市新田町田中「亀尾池」(No. 563-1982. 10. 2-K)

#### 5. *Najas ancistrocarpa* A. Br. ムサシモ

果実が弦状に曲がることから、香川県産の他のトリゲモ類とは容易に区別できる。県内の平野部から山際の中～大型の溜池に生育している(図3)。

<標本産地>

大内町中山「大池」(No. 600-1983. 9. 1-O); 志度町幸田「幸田池」(1979. 10. 7-K), 鴨部成山「成山大池」(No. 990-1986. 10. 5-K); 三木町朝倉小川下「小川下池」(No. 959-1986. 8. 21-K); 高瀬町下勝間「国市池」(No. 704-1984. 9. 22-K)

#### 6. *Najas japonica* Nakai イトトリゲモ

全体に繊細で、葉が各節に5輪生状に着くことから、香川県産の他のトリゲモ類とは容易に区別できる。生育地の主体は、標高150~250メートル当りの丘陵部から山際であるが、平野部の水田からも採集された。比較的小型の溜池、湿田や水田脇の用水溝、湧水湿地等の、水深は浅くても、常時水の枯れない様な立地にも生育している(図2・3)。

<標本産地>

白鳥町五名長野「方の池」(No. 700-1984. 9. 2-K); 大内町水主別所「新宮池」(No. 708-1984. 9. 25-O); 志度町間川(水田)(No. 1667-1993. 8. 17-K); 丸亀

市金倉町原(水田)(No. 625-1983. 9. 19-W); 琴南町造田岡の峰(湿地)(1991. 8. 18-A); 満濃町炭所東金剛院(水田)(1982. 10. 3-K), (溜池)(No. 1627-1992. 9. 27-S), 大井手(水田)(1991. 8. 18-OK), (水溝)(No. 1483-1991. 8. 18-S), (水溝)(1991. 8. 18-S), 炭所西江畑「測谷池」(No. 1318-1990. 10. 14-K)

#### 7. *Najas foveolata* A. Br. ヒロハトリゲモ

果実表面の四角の網目模様により他のトリゲモ類と区別できると言う(角野, 1994)。標高50メートル以下に多く、生育立地の主体は平野部から丘陵部である。小～中型の溜池にも生育するが、香川県の分布の中心は水田であり、時に水田脇の用水溝や山際の湧水湿地にも生育している(図2・3)。

<標本産地>

白鳥町白鳥田高田「田高田池」(No. 613-1983. 10. 2-K), 五名大阪峠(溜池)(No. 1159-1989. 9. 27-K); 志度町間川(水田)(No. 1668-1993. 8. 17-K); 長尾町東極楽寺(水田)(No. 699-1984. 8. 20-W); 土庄町長浜稗田(溜池)(No. 881-1985. 8. 27-O), 肥土山上苗手(水田)(No. 955-1986. 7. 25-K); 三木町上高岡「山大寺池」(No. 962-1986. 8. 21-K); 庵治町馬治東(水田)(No. 956-1986. 8. 7-K); 高松市西植田町葛谷(溜池)(No. 1870-1998. 9. 20-K); 坂出市川津町春日(水田)(No. 1078-1988. 9. 3-W); 綾上町粉所東相津(溜池)(No. 1308-1990. 9. 9-W); 綾南町陶下井(溜池)(No. 1183-1989. 10. 1-W); 丸亀市川西町北宮西(水田)(No. 594-1983. 8. 24-W), (水田)(No. 595-1983. 9. 3-W), 郡家町重元(水田)

(No. 986-1986. 9. 23-W), 川西町南木村 (水田) (No. 1032-1987. 9. 27-W), 牛島町牛島小浦 (水田) (No. 1670-1993. 9. 5-K); 琴南町造田岡の峰 (水溝) (No. 1487-1991. 8. 18-W), (湿地) (No. 1488-1991. 8. 18-A); 満濃町岸上椿谷 (水田) (No. 1166-1989. 9. 23-W), 炭所東大井手 (水溝) (No. 1482-1991. 8. 18-S), (水田) (No. 1484-1991. 8. 18-S), 金剛院 (水田) (No. 1628-1992. 9. 29-S)

### 8. *Najas* sp.

ここには、雄花の葯室が不明でオオトリゲモかトリゲモか確定出来なかったものと、果実がなくてヒロハトリゲモと確定出来なかったものを、参考資料として記載した。オオトリゲモとトリゲモの生育地については、平野部が少なくなっているが(図3)、平野部に生育していないと言うのではなく、平野部に生育しながら両種の区別がつかないため、ここに集められたものがある。

#### <標本産地>

引田町小海の中村「瀬島池」(1991. 10. 13-A); 白鳥町五名日下峠(溜池)(1990. 10. 10-K); 大川町田面豊田「新池」(1989. 10. 14-K); 志度町鴨庄小方「野上池」(1986. 10. 5-W), 鴨部成山「成山大池」(1986. 10. 5-W); 内海町苗羽馬木「今坂池」(1985. 8. 28-K); 土庄町土庄門ヶ鼻(水田)(1985. 8. 11-K), 長浜稗田(溜池)(1985. 8. 27-O), 上庄垣ノ内(溜池)(1986. 11. 18-K); 三木町朝倉小川「小川下池」(1986. 8. 21-K), 井上四角寺「辻池」(1990. 9. 1-K); 高松市栗林町栗林公園(園内池)(1988. 9. 6-K); 綾南町陶猿王「東谷池」(1988. 10. 2-K); 丸亀市川西町南鋸木「鋸木池」(1996. 9. 14-K); 満濃町炭所西大向下「新池」(1990. 10. 14-K); 善通寺市木徳町「宮池」(1988. 9. 5-K); 仲南町七箇小池「株藪池」(1995. 10. 19-K); 観音寺市新田町田中「亀尾池」(1983. 9. 17-K)

### 考察

日本産イバラモ属は、角野(1994)によれば8種あ

り、他に疑問の種としてイバラモ近縁のヒメイバラモ *N. tenuicaulis* Miki とヒロハトリゲモ近縁の *N. orientalis* Triest & Uotila を挙げている。今回の調査の結果、香川県では、東北以北に分布しているイトイバラモ *N. yezoensis* Miyabe を除く7種の生育が確認された。なお、角野(1994)の挙げた疑問種との関係は、ここでは検討しなかった。

香川県産イバラモ属の分布は、イバラモ以外の種については県内全域に分布しており、特異な片寄りは見られなかった(図1)。イバラモについては、産地数が少なく確定的な事は言えないが、既存資料も含め確認された範囲では東の地方に片寄っている(図1)。隣県の分布状況を既存資料で見ると、徳島県のイバラモは、鴨島町から鳴門市辺りにかけての東の地方で確認されており(阿部, 1990)、香川県とのつながりを伺わせるものがある。ただ生育地は全て河川の様で、香川県の溜め池とは異なった環境である。一方、愛媛県のイバラモは、丹原町に極稀となっており(山本, 1978)、生育地は香川県同様溜め池の様である。高知県の標本は角野(1994)に記録があるが、生育立地は不詳である。

隣県のイバラモ属の産状は、山本(1978)、阿部(1990)、角野(1994)に見られるが、四国4県のイバラモ属の産状はかなり異なっている様であり、各地の詳細な生育立地調査を早急に行う必要がある。

### 文献

- 阿部近一, 1990. 徳島県植物誌. 教育出版センター, 徳島.  
 角野康郎, 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.  
 香川県, 1983. 香川県植物誌(単子葉・裸子).  
 久米 修, 1982. 香川県の水生植物目録. 水草研究会会報 10: 8-10.  
 瀬戸 剛, 1978. 三木茂博士寄贈水草腊葉標本目録. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録 第10集.  
 山本四郎, 1978. 愛媛県産植物の種類. 愛媛植物研究会, 今治.